

幸福の黄色い しあわせ



「もしお前が今でも一人で暮らしてて、
俺を待ってくれるなら、
鯉のぼりの竿に黄色いハンカチを
上げといてくれ…」

劇団「むさしの座」第51回公演
原作:ピート・ハミル 演出:広石一人

2017年11月11日土 15:00、19:00 開演

(Aプロ)

12日日 13:00 開演

(Bプロ)

上演時間
およそ 90分

~土日はお忙しい方のために~

公開舞台稽古 11月10日金 19:00 開演

(Bプロ)

※公開舞台稽古は途中で進行が止まったり、
やり直したりする場合があります。
あらかじめご了承ください。

武蔵村山市民会館小ホール

開場は開演の 30 分前です。お早めに席にお着きください。

主催：武蔵村山市民文化協会 共催：武蔵村山市教育委員会

入場
無料

あの感動を、もう一度…!!

1977年、山田洋次の脚本・監督によって松竹が製作、第一回日本アカデミー賞をはじめ数多くの賞を受賞した名画「幸福の黄色いハンカチ」。

その5年後の1982年、1年半にも及ぶ企画構想を経て、山田洋次監督の協力の下、山田氏の愛弟子の一人・栗山富夫監督を松竹から迎え、テレビ・ドラマ化されました。今回、むさしの座が挑戦するのは、映画版とドラマ版の"ハイブリッド版"!!

武蔵村山市民会館小ホールに、あの時の感動をもう一度お届けします！

まだこの名作をご覧になったことがない方も、ぜひお見逃しなく!!!

二人の青年が、パッとしたことを求めて北海道に貧乏旅行に旅立った。

うまく二人連れの女の子たちを引っかけ、

思惑通りの楽しい旅になりかけていた、その日の朝、

若者たちは、刑期を終えて出所したばかりの勇作と出会う。

勇作は6年もの刑期の中で、面会に来た妻に離婚届を渡していたが、

勇作の心には今でも妻への想いがあった。

そして、「今でも一人で俺を待っていてくれるのなら、

鯉のぼりの竿の先のロープに、黄色いハンカチをくくり付けておいてくれ…」と、妻に一通の葉書を出した。

それを知った若者たちは、勇作と共に、それを確かめるために稚内へと向かう――。



キャスト

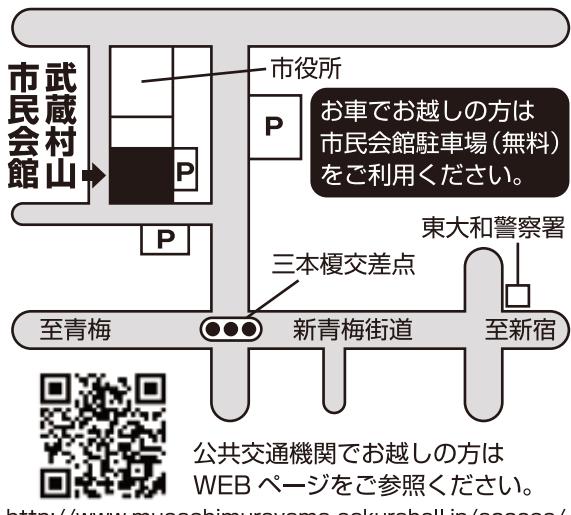
八田 誠（弁当屋アルバイト）… 丸田大介
大沢 弘美（町工場従業員）… 菊池晃広
泉沢 幸子（美容師）… 柴崎利沙
音無 由美（美容師）… 乙幡麻紀（Aプロ）
… マクレナハン麻純（Bプロ）
島 勇作（貨物船機関士）… 武藤恭章
島 光枝（勇作の妻）… 松嶋千華

渡辺 主任（警察官）… 見延武子
刑務官… 木村英二（劇団晴れたらいいね）
定食屋の女将、主婦… 田倉すみ子
警官 A… 大橋なおみ
警官 B… 秋山桂子
出前持ち… 矢野優奈（Aプロ）
… 浅井裕香（Bプロ）

スタッフ

演出・音響… 広石一人
舞台監督・照明… 内野辰美
衣装… 梶 文子、大橋なおみ

撮影… 酒井浩伸、湯澤敏子、米野太一
広報… 米野太一
制作… 広石康子



一緒に楽しくお芝居をしませんか？

劇団「むさしの座」は、いろいろな職業の人や学生達のアマチュア劇団です。会費は月に1,000円という条件だけで、どなたでも大歓迎！

お問い合わせ

resetresetreset@hotmail.com (矢野)まで

過去の作品がYouTubeで観られます！
劇団「むさしの座」公式WEBサイト
<http://reset.noor.jp/za/>